

複数言語同時学習プログラム

—IT活用による新授業形態—

小野隆啓
京都外国語大学

平成17年度 英語教育IT活用研究委員会
2005年11月26日 私立大学情報教育協会

日本の外国語学習

中学・高校での外国語教育

初習外国語 英語の学習

個別言語学習

日本の外国語学習

大学での新しい外国語学習
(フランス語・ドイツ語など)

中学・高校での外国語学習と同様の
個別言語学習

学習時間の少なさ

教養程度の習得度

日本の外国語学習

二言語が独立して無縁のものとして教授

相違点が不明瞭

共通点が曖昧

類似点が不明瞭

**文法・語彙・発音などの
低い定着度**

本取り組み

IT活用による
複数言語同時学習
プログラム

英語を基軸
IT (CALL) 活用
ティームティーチング
二言語同時学習
学習動機を増進

英語教授法

- **Direct Method**
- **Silent Way**
- **Suggestopedia**
- **Notional Functional Syllabus**
- **Cognitive Method, etc.**

新しい学習補助支援機器

- DVD
- インターネット
- e-mail
- e-Learning
- CALL (Computer-Assisted Language Learning)
- 電子辞典

教育の根源

- 教授内容
- 動機付け

外国語学部における語学教育

- 現在

専門言語(第一外国語)

第二外国語

- 将来

二言語を専門言語

二言語同時学習

- 一言語の学習の2倍の学習量
- 二言語の混乱
(文法、語彙、意味、表現)
- 練習量の不足

取組の特色性

英語を基軸とした
二言語同時学習

CALL

Computer Assisted
Language Learning

ティームティーチング

CALL EX

- E = English

X = F (French)
 G (German)
 S (Spanish)
 C (Chinese)
 P (Portuguese)
 I (Italian)

- Main Class

- Tutorial Class

英語を基軸とした二言語同時学習

CALL EF

(English & French)

英 語

主専攻
第二外国語
フランス語

フランス語

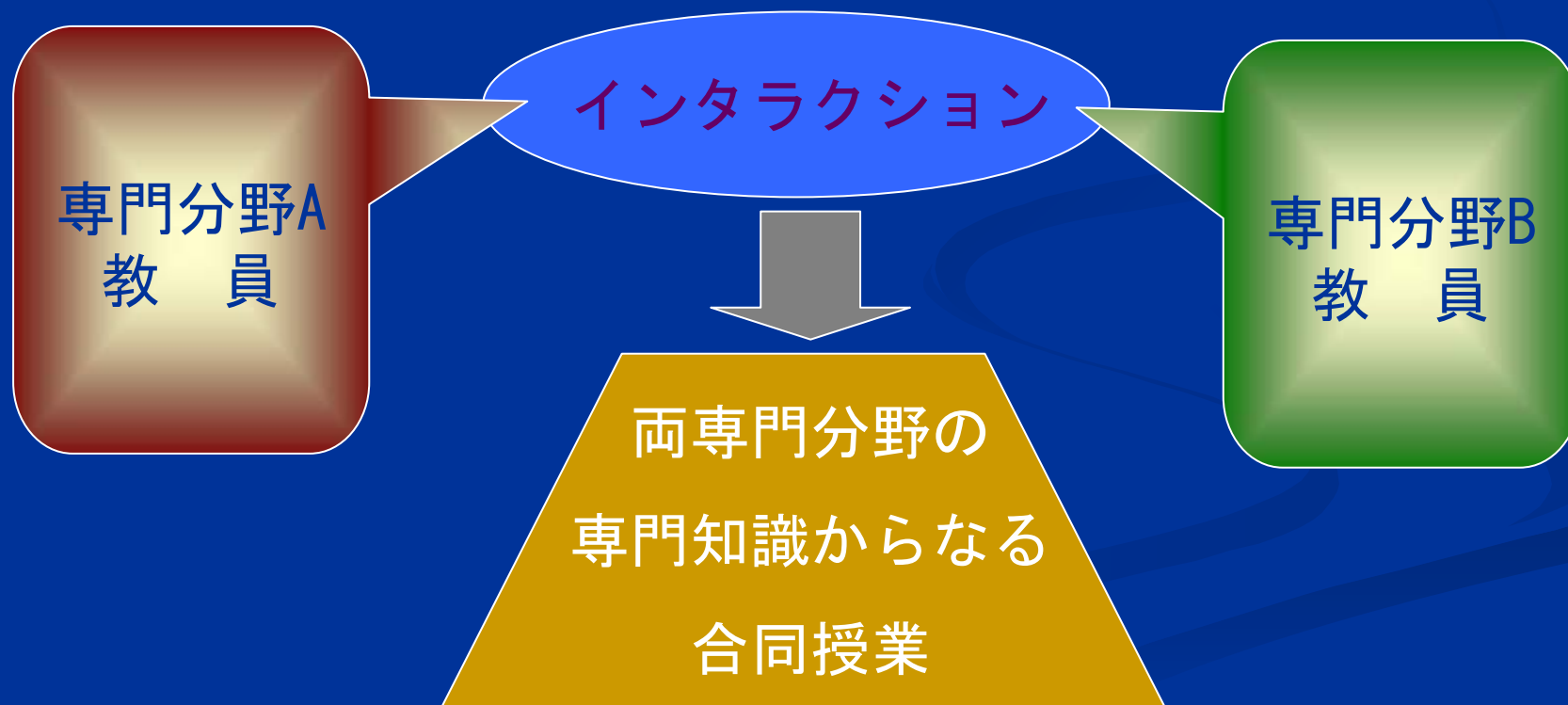
主専攻
第二外国語
英 語

2 講時連続授業

180分

チームティーチング

高等教育機関における
チームティーチング



チームティーチング CALL EF

同一時間

同一教壇

同一教材

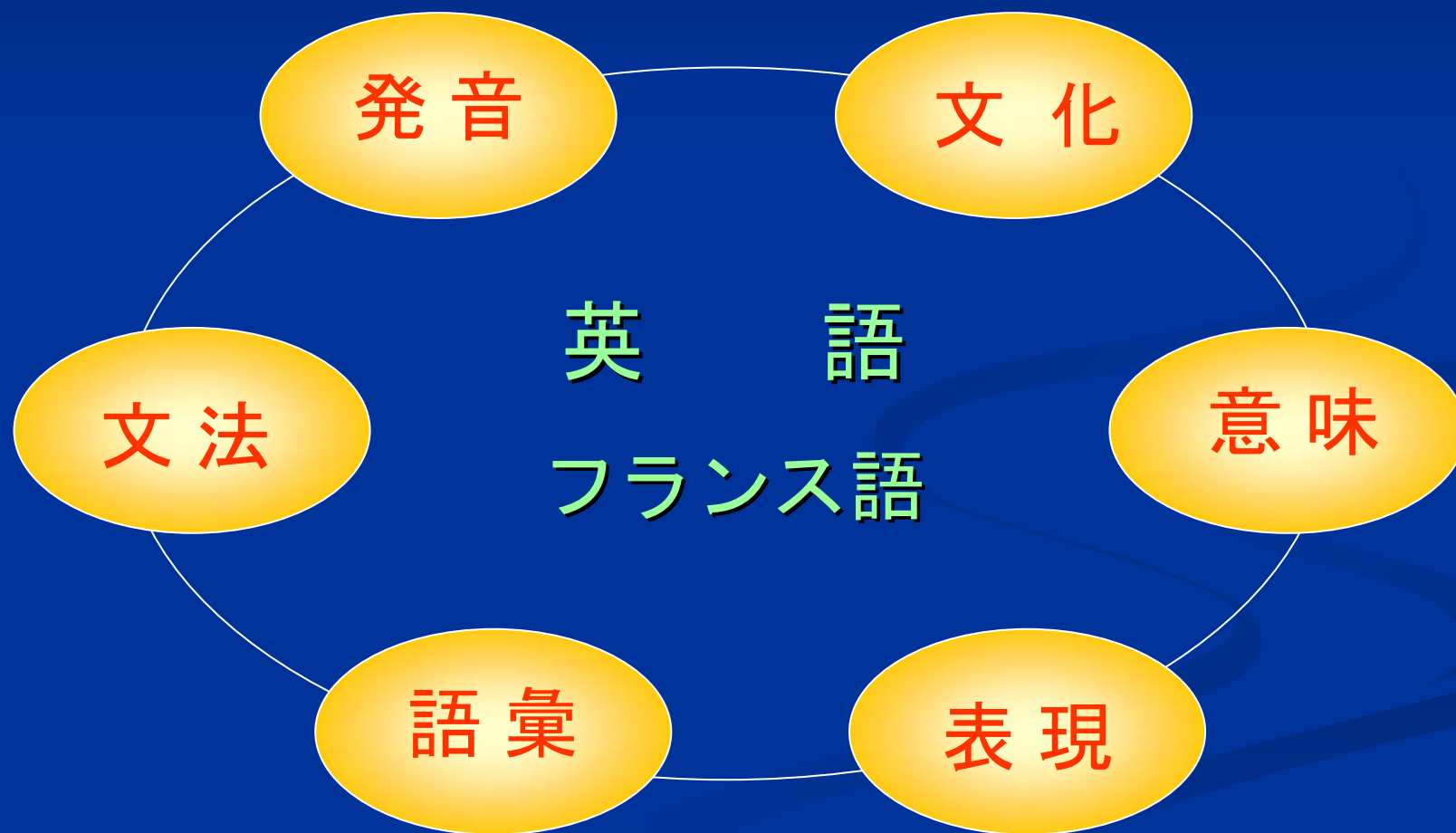
同一現象



対照言語学的アプローチ



対照言語学的アプローチ



類似点と相違点

文法と構文

(1) a. John believes that Mary is intelligent.

b. John believes Mary to be intelligent.

(2) a. Jean croit que Marie est intelligente.

b. *Jean croit Marie être intelligente.

(* = 非文法的)

類似点と相違点

文法と構文

(1) a. I missed the last train.

b. J'ai manqué le dernier train.

(I have missed the last train)

(2) a. I missed you.

b. Tu me manques.

(you me missed)

類似点と相違点

文法と構文

(1) a. un homme pauvre
(a man poor)

「貧しい人」

b. un pauvre homme
「かわいそうな人」

(2) a. un homme grand
「背の高い人」

b. un grand homme
「偉大な人」

類似点と相違点

文法と構文

(1) a. the present president

「現大統領」

b. the presidents present

「出席している大統領」

(2) a. a certain man

「ある人」

b. a man certain of it

「そのことを確信している人」

類似点と相違点

表現・文化

- (1) a. “I’m Harry. Harry Potter.”
b. “Je m’appelle Harry. Harry Potter.”
c. ?“Je suis Harry. Harry Potter.”

(2) 雨の確認

チームティーチングの さらなる利点

教員による、学生の立場に立った質問提示



教員同士の議論



学生の議論への参加

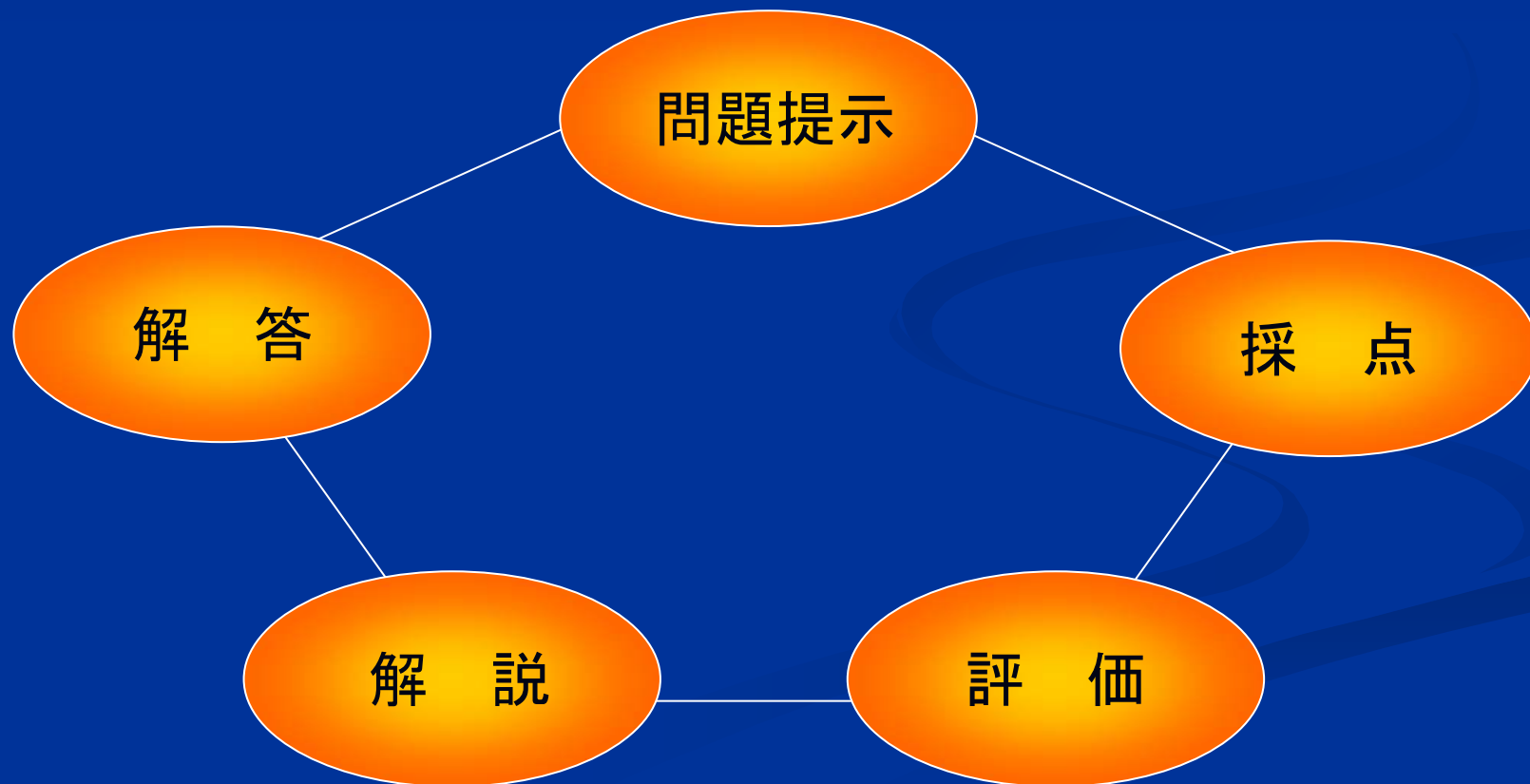


授業の活性化

CALLの活用

Computer Assisted Language Learning

従来型のCALL



融合型CALL

授業内での教材



CALL EXの授業構成

- 自律型CALL演習（40分）
- Homework Review (HP: CALL EG)
- 二言語対照言語学的アプローチ
- Reading (POP辞典)
- Report (POP辞典)
- Tutorial Class

CALL EXの授業構成

- 自律型CALL演習（40分）

TOEIC practice (ALC Net Academy)

Vocabulary Development (Power Word)

Pronunciation Clinic

(AmiVoice CALL, Acoustic Core)

- Homework Review (HP: [CALL EG](#))

CALL EXの授業構成

- 二言語対照言語学的アプローチ
映画教材

Harry Potter and the Philosopher's Stone (HPPS)

HPPS (English)

HPPS (French/German/Chinese)

融合型CALL演習(e-Learning)

語彙増強・発音・文法・表現・文化

CALL EXの授業構成

- Vocabulary
- Reading (POP辞典)

POP Dictionary

HPPS-Reading (POP辞典)

Cloze Test

Cloze Test

In Japan as in America there are regulations forbidding the sale of alcoholic beverages to very young people, but in Japan no one seems to worry very much about whether or not they are enforced. In America they are very strictly enforced. In America the regulations having to do with the sale of alcoholic beverages are complex and inflexible. Nowhere in America would one be able to buy a bottle of whiskey at a vending machine. Indeed the sight of the vending machine (1) alcoholic beverages is one of the things at which (2) and Europeans marvel. The Japanese police are very good (3) enforcing restrictions when they seem necessary, and in this (4) one must conclude that they have not been thought (5) necessary. Young people are allowed to drink fairly much (6) they wish, and anyone can buy whiskey at a (7) machine. The explanation must be that the danger (8) not exist in Japan to such a degree as (9) the United States that people will drink too much, (10) create a social problem.

CALL EXの授業構成

- Vocabulary

- Reading

 - POP Dictionary

 - HPPS-Reading (POP辞典)

 - Cloze Test

- Report (POP辞典)

 - “carpool”

 - (DMV: Department of Motor Vehicles)

 - CNN (Internet)

 - MSN Video (Internet)

CALL EF教材

Dobby: Harry Potter, such an honor it is.
字幕: Harry Potter ! C'est vraiment trop d'honneur !
音声: Harry Potter ! C'est un si grand honneur !

Harry: Who are you?
字幕: Qui tes-vous ?
音声: Qui tes-vous ?

Dobby: Dobby, sir. Dobby the house-elf.
字幕: Dobby, monsieur. Dobby, l'elfe de maison.
音声: Dobby, monsieur. Dobby, l'elfe de maison.

CALL EC教材

やはりおいでだったか、

I should have known that you would be here,

字) 我早该想到会在这里见到你

声) 我早该知道你也会来这里。

マクゴナガル先生

Professor McGonagall.

字) 麦教授

声) 亲爱的麦教授。

取組の有効性

20項目について5件法評価

自由記述

13項目で
4.0以上の
評価

残り7項目で
3.0以上の
評価

①この授業に満足した

有効だった

面白かった

見えてきた

よくわかった

教材だった

切であった

切であった

切であった

⑩この授業を熱心に受講した

⑪普段の語学の授業をもっとがんばろうと思った

前より増した

前より増した

業であった

受講したい

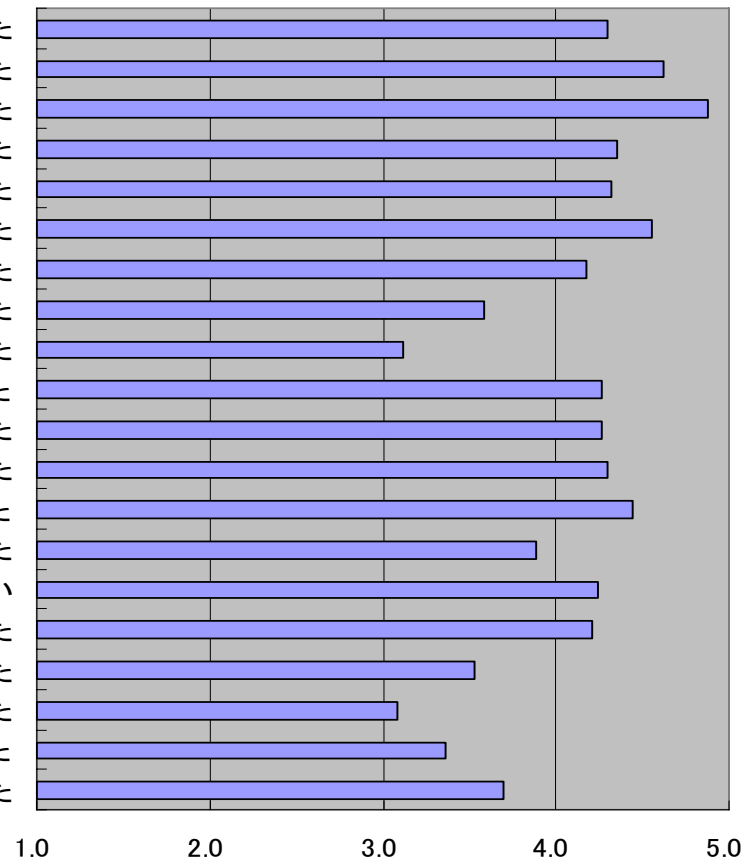
が向上した

が向上した

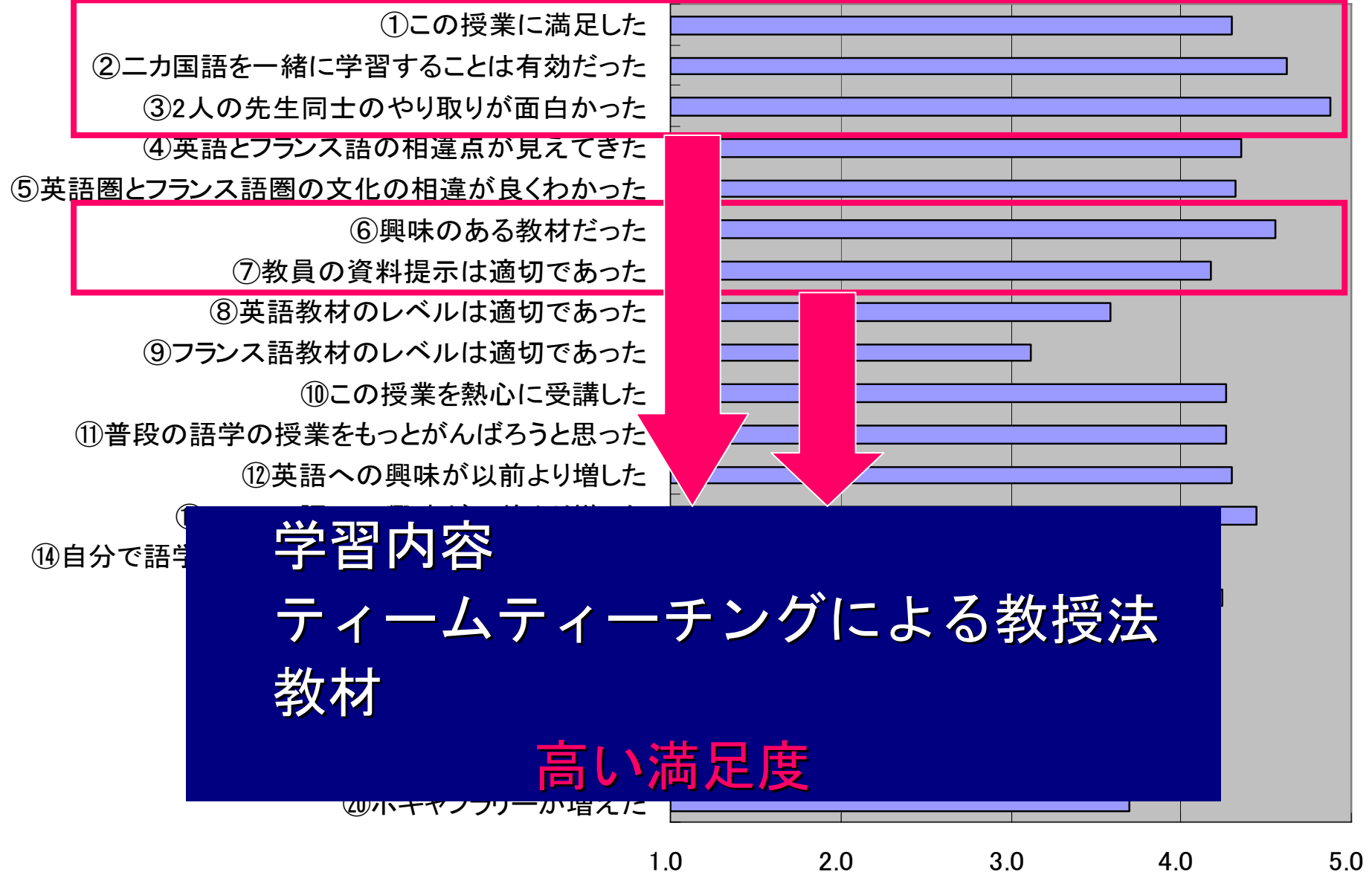
が向上した

が向上した

ーが増えた



取組の改善効果(1)



取組の改善効果(1)

自由記述の意見

「教員が2人いることで $1 + 1 = 2$ 以上のものが得られます。」

「英・仏の文化についてもたくさん知ることができ、興味深かったです。」

取組の改善効果(1)

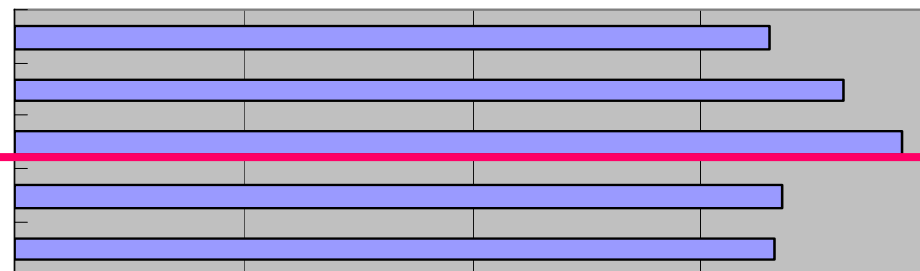
即効的能力向上

全体的な語学力の向上

高い評価

取組の改善効果(2)

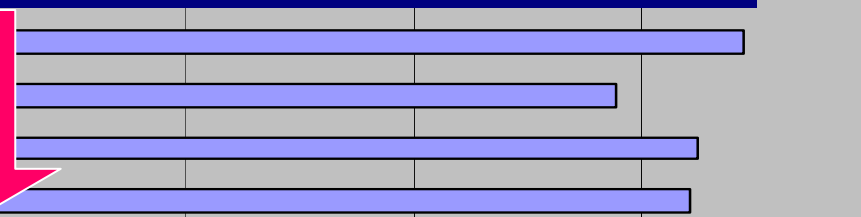
- ①この授業に満足した
- ②二カ国語を一緒に学習することは有効だった
- ③2人の先生同士のやり取りが面白かった
- ④英語とフランス語の相違点が見えてきた
- ⑤英語圏とフランス語圏の文化の相違が良くわかった



自由記述

「違うところや似ているところが比較出来るので、視野を広く持ち勉強出来たと思います。」

- ⑬フランス語への興味が以前より増した
- ⑭自分で語学を勉強する際参考となる授業であった
- ⑮CALL EF 2も可能なら受講したい
- ⑯語学力が向上した



両言語・各文化圏の相違の
把握に対する評価が高い。

4.0 5.0

取組の改善効果 (3)

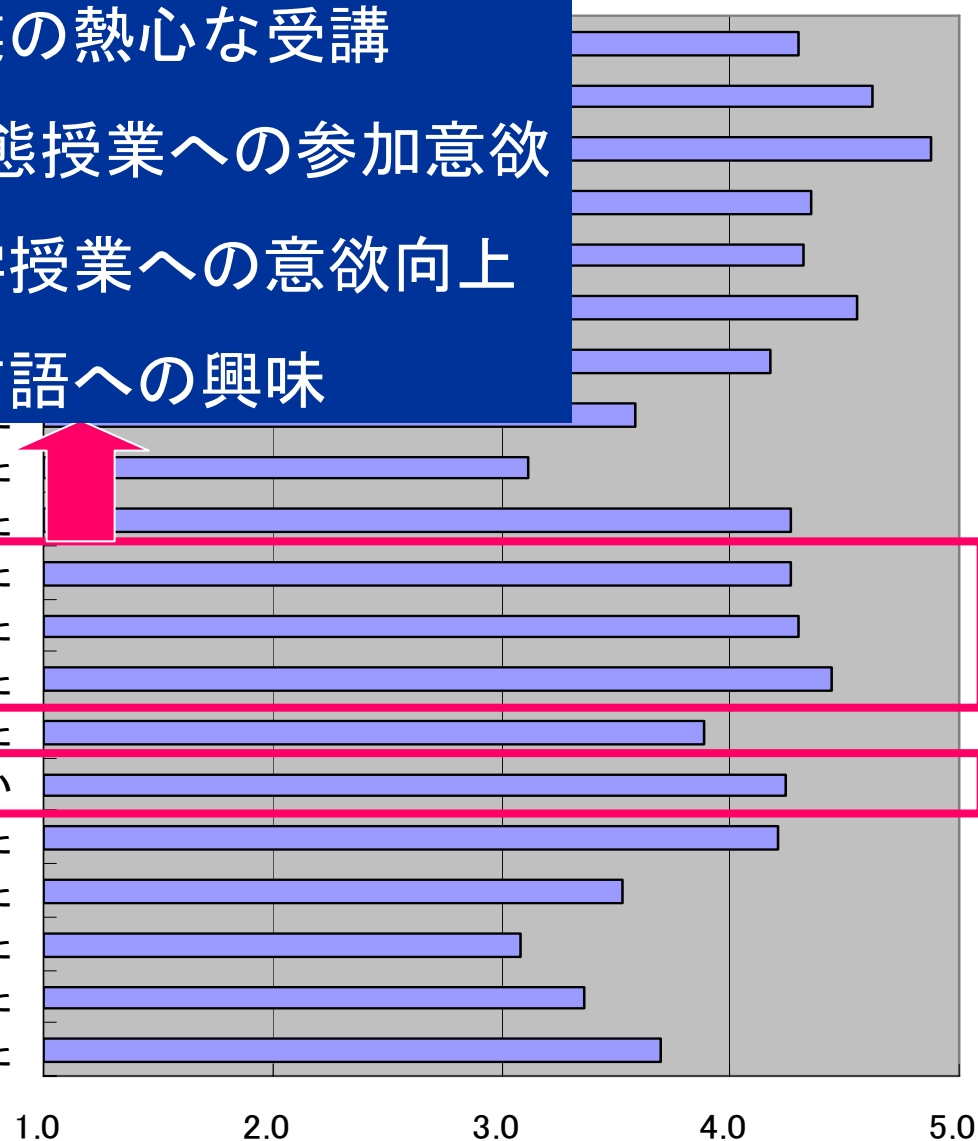
本授業の熱心な受講

同一学習形態授業への参加意欲

普段の語学授業への意欲向上

両言語への興味

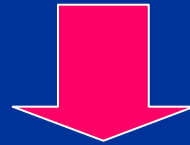
- ②二カ国語を一緒に学
- ③2人の先生同士
- ④英語とフランス語
- ⑤英語圏とフランス語圏の文化
- ⑥
- ⑦教員の資
- ⑧英語教材のレベルは適切であった
- ⑨フランス語教材のレベルは適切であった
- ⑩この授業を熱心に受講した
- ⑪普段の語学の授業をもっとがんばろうと思った
- ⑫英語への興味が以前より増した
- ⑬フランス語への興味が以前より増した
- ⑭自分で語学を勉強する際参考となる授業であった
- ⑮CALL EF 2も可能なら受講したい
- ⑯語学力が向上した
- ⑰リスニング能力が向上した
- ⑱リーディング能力が向上した
- ⑲文法能力が向上した
- ⑳ボキャブラリーが増えた



取組の改善効果(3)

自由記述

「2つの言語を比較しながら、両方のつながりを学ぶのは楽しかったし、両方への興味がもっと出てよかった。」



他の授業に対する
学習意欲向上

取組の改善効果(4)

CALL EFの学生間の交流

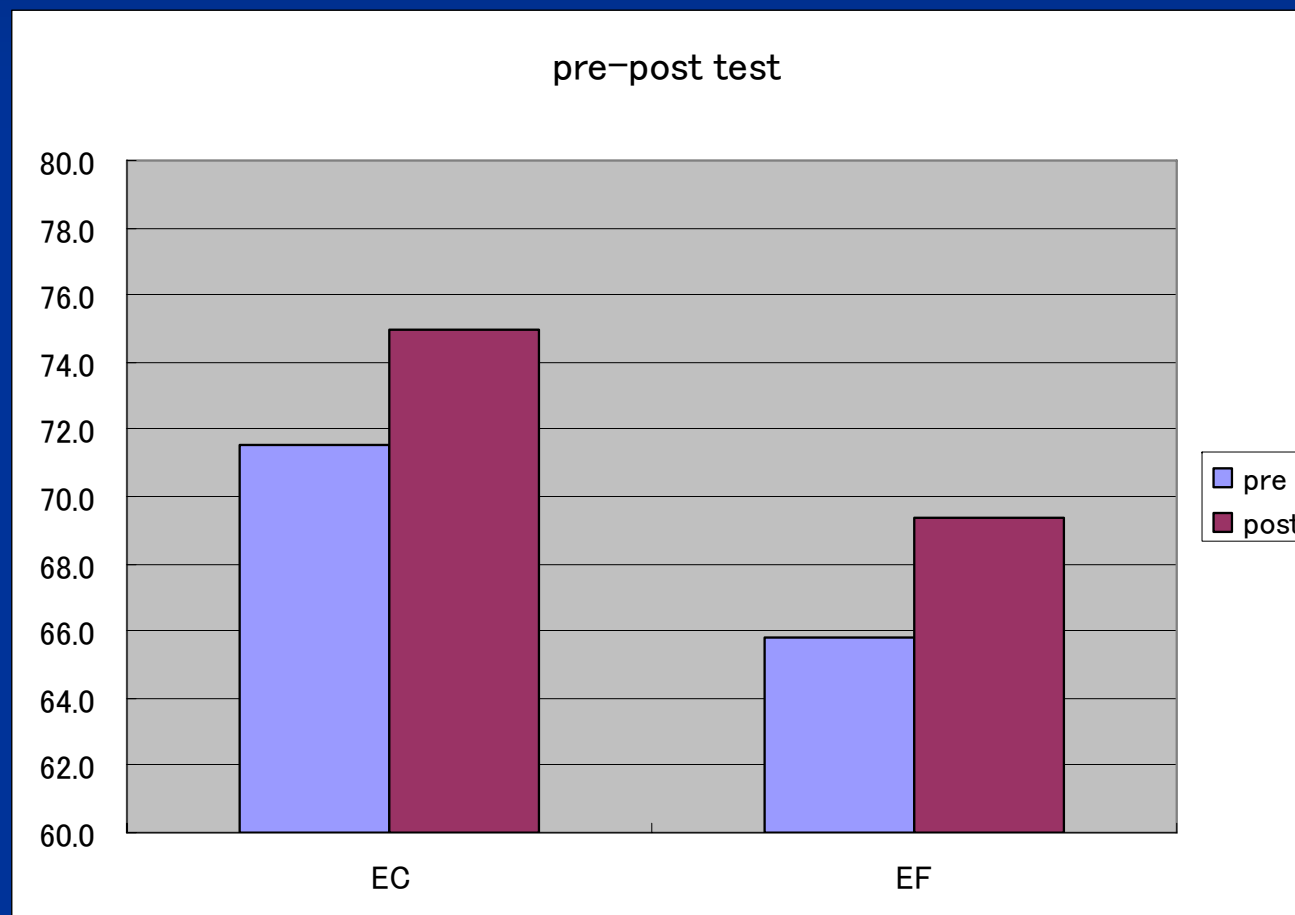
英語専攻の学生とフランス語
専攻の学生による合同クラス



学生間の交流促進

取組の改善効果(5)

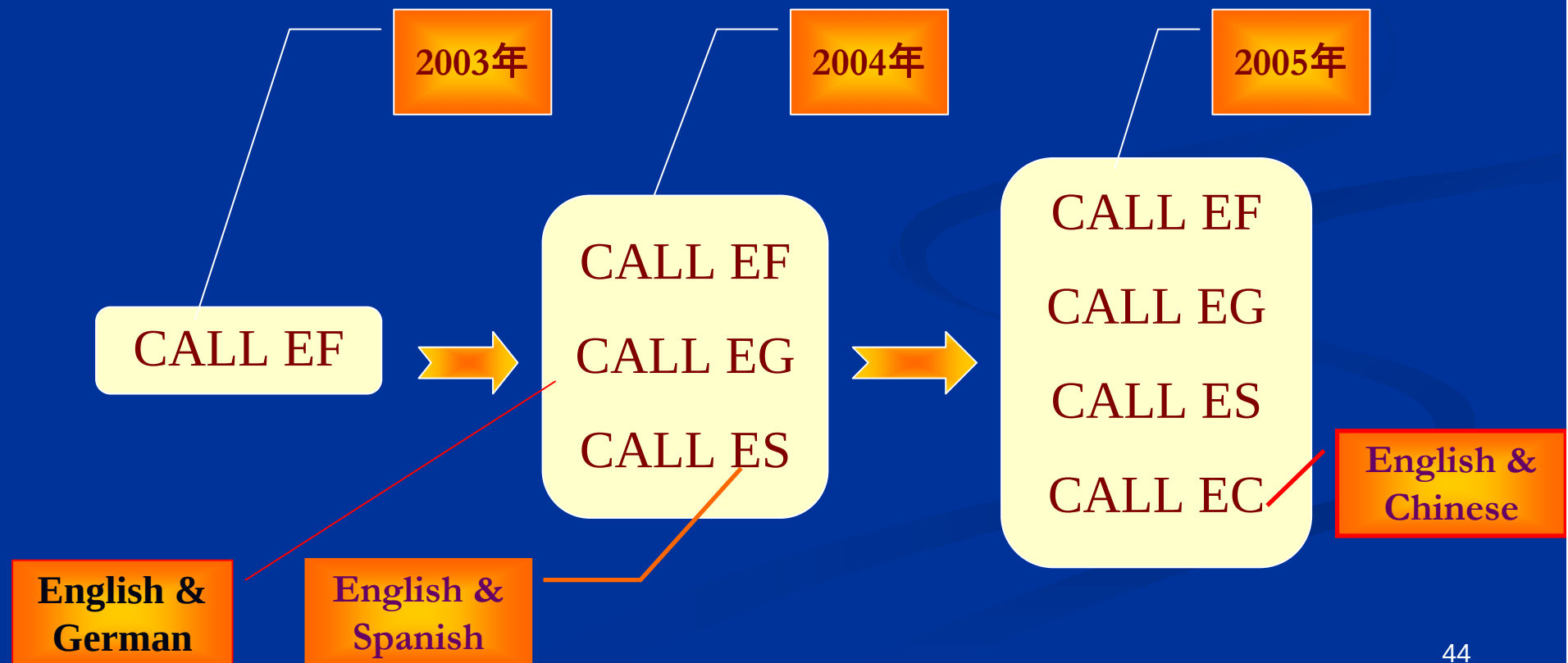
Pre-Test とPost-Test



拡大性

即時的拡大 (1)

同時学習の対象言語の拡大



拡大性

同時学習の対象言語の拡大 2006年度

CALL EF

CALL EG

CALL ES

CALL EC

CALL EP

CALL EI

English &
Portuguese

English &
Italian

拡 大 性

即時的拡大 (2)

CALL EF, EG, ESの開講数の増加

CALL教室の増設
融合型CALL教材の作成

拡 大 性

即時的拡大 (3)

日本人教員と外国人教師との
チームティーチング

言語使用や文化に関する
広範な意見交換

拡大・汎用性

外国語学部における共通性

二言語を主専攻とする
実力を備えた学生の育成

一般科目への適用拡大

拡大・汎用性

外国語学部以外における共通性

専門科目と語学教育の融合

複数言語同時学習プログラム

—IT活用による新授業形態—

小野隆啓
京都外国語大学

平成17年度 英語教育IT活用研究委員会
2005年11月26日 私立大学情報教育協会